令和8年 10 月29日
北九州市 政 策 局
北九州市産業経済局

インフラの維持管理への活用を見据え

フィジカル AI ロボットの公道走行実証を開始！

～11月6日(金)にデモンストレーションを実施～

報道機関　各位

北九州市は、「北九州市フィジカルAI共生都市戦略」と「東田・未来都市プロジェクト」の取組の一環として、この度、**インフラの点検や補修の自動化を目指す事業者が開発した「フィジカルAIロボット」の公道走行や実際の橋梁などでの実証・開発を支援します。**

橋梁をはじめとするインフラの維持管理では、老朽化施設の増加や点検作業の安全確保、担い手不足などが課題となっています。

今回の実証では課題解決に向け、ロボットが八幡東区東田地区の約4㎞の公道ルートを AI による自律走行を行い、都市空間における自律走行の安定性や歩行者や自転車等と共存する際の課題などを検証します。

このたび、下記の通り、デモンストレーションを行いますので、ぜひ取材のほどよろしくお願いします。

1. デモンストレーションについて

日時	令和8年11月6日(金)　13:00～
場所	集合：東田大通り公園 (八幡東区東田二丁目) ※駐車場はありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。
内容	(1)　実証支援について(北九州市) (2)　実証内容について(事業者) (3)　デモンストレーション(公道走行) (4)　質疑応答



※実証用ロボット

2. 実証を行う事業者について

事業者名	株式会社大和インフラロボティクス
代表者名	福塚　大和
所在地	北九州市門司区中１丁目 14 flag203
事業内容	AI 及びロボットに関する技術の研究・開発・製造・販売及び保守 / 社会インフラ構造物の調査・点検・診断・設計・補修及び維持管理 / 建設コンサルタント業務

3. 実証実験の内容について

実証概要	本実証では、将来的にロボットが巡回点検等を担うことを見据え、都市部における自律走行の安定性、歩行者等との共存、安全な運用方法、通信や緊急停止等の課題を確認します。
実証期間	令和8年10月26日(月) ～ 令和8年12月下旬　※不定期で実施
実証場所	八幡東区東田地区(約4km)



東田地区約 4km の走行ルート図

同社のその他の取組について

① 若松区の学術研究都市において、技術開発
　内容:ロボットの自律走行、アーム展開等の開発・検証
② 門司区の橋梁において、技術開発・実証
　内容:橋梁点検ロボットのアーム展開とドローン点検等の開発・実証

4. フィジカル AI 共生都市戦略について

(1)背景・目的

北九州市の強みである多様な社会実装フィールドを活かし、フィジカルAIの社会実装を推進します。これにより、日本を代表するフィジカルAI産業クラスターの形成と暮らしの質の向上やまちの魅力向上を実現します。

(2)ビジョン

＜北九州市フィジカルAI共生都市＞

フィジカルAIが産業や市民生活、まちに広く実装され、人とAI・ロボットが共生する都市

＜目指す姿＞

【企業】 生産性向上と新産業創出、産業集積
【大学・研究機関】 研究成果の社会実装と人材育成
【市民】 便利で豊かな暮らしの実現
【まち】 文化・交流・観光など新たな都市空間を創出
【行政】 社会課題を解決し、モデルを全国へ展開

＊詳細は https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/101_00002.html

【問い合わせ先】
①本実証及び東田・未来都市プロジェクトに関すること
　政策局サステナビリティ戦略課　担当:〔課長〕濱邉、〔係長〕江口　TEL:093－582－2156
②フィジカル AI 共生都市戦略に関すること
　産業経済局未来産業推進課　担当:〔課長〕福田、〔係長〕山尾　TEL:093－582－2905

北九州の課題を、
フィジカルAIで解く。

北九州フィジカルAI ハッカソン2026

11/28(土) 29(日)

九州工業大学 戸畑キャンパス内
GYMLABO

テーマ

地域産業課題 × ヒューマノイド

参加対象

高専生・大学生・大学院生・若手社会人

👉業界・専攻・経験不問！
👉初めての方も大歓迎！

使用予定機体

Unitree G1

参加費無料
定員30名
個人参加OK



※画像はイメージです。

詳細・参加申込はこちらから！

※イベントへ協力・協賛いただける企業等を募集しています。
詳細はホームページ内「お問い合わせフォーム」より
お問い合わせください。

主催：北九州市産業経済局未来産業推進課
共催：公益財団法人北九州産業学術推進機構・国立大学法人九州工業大学
運営協力：RobotMateHub
協力：GMO AI&ロボティクス商事・合同会社Orboh-Japan・株式会社Ena・お人好しLab　等

Kitakyushu Action! 動かせ、未来。北九州市
国立大学法人 九州工業大学
FAIS

※内容は予定のため、今後変更となる場合があります。

Kyutech ARISE

企業のロボット開発者・新規事業担当者向け



ロボット開発を実践的に習得する！

自律移動ロボットで学ぶROS入門

「シミュレータ開発」と「チームによる実機開発」の2講座でROSを実践的に習得

業界標準 ROS／ROS2
研究・商用開発の多くが採用

事前検証用シミュレータ開発
GazeboシミュレータのVOD講座

実機でチーム開発
TurtleBot実機の現地ハンズオン

講座1　シミュレータ開発

オンライン｜完全非同期｜4ヶ月間（10コマ）
Gazebo上でSLAM・Navigationを構築

講座2　チームによる実機開発

集合研修｜同期｜4日間（8時間／1日）
TurtleBot実機でチーム開発・成果発表

このような方におすすめ

- ✓ ROSを業務で使い始めたい開発者
- ✓ 自律移動ロボットの社内プロジェクトを立ち上げたい方
- ✓ SLAM・Navigationを実機で試したい方

日時	**講座1** 例年10/01～2/28（オンライン・非同期）　**講座2** 連続した4日間の9:00～17:00・応交渉
会場	**講座1** オンライン（PCは各自用意）　**講座2** 北九州学術研究都市 情報技術高度化センター 2F 205
定員	**講座1** 開講要件なし　**講座2** 4名以上で開講，最大20名
参加費	**講座1** 55,000円　**講座2** 550,000円＋経費（いずれも1人・税込）　※助成金の対象となる場合あり
対象	ROS初学者（Pythonの基礎知識がある方）
申込	**下記の連絡先へメールでお申し込みください（件名「ROS入門 申込」）**

主催・お申込み・お問い合わせ　株式会社 Kyutech ARISE info@mail.kyutech.jp
講師　国立大学法人　九州工業大学　大学院生命体工学研究科　田向 権 教授
Web　Kyutech ARISE www.kyutech-arise.co.jp｜田向研究室 www.brain.kyutech.ac.jp/~tamukoh/

G-CITYサミット

G-CITY SUMMIT 2026

世界トップレベルの研究と
社会実装をつなぐ国際サミット

研究都市から、未来産業創出都市へ。



DATE
2026.10.30 FRI
10:00 - 17:00 | 17:00 交流会(懇親会)

VENUE
北九州学術研究都市 会議場
北九州市若松区ひびきの2番3号

PROGRAM | プログラム(予定)

10:00 挨拶
北九州市副市長　片山　憲一

10:05 オープニングセッション
ツバメインダストリ（株）代表取締役社長 吉田　龍央
岡野バルブ製造（株）経営企画&新規事業統括　菊池　勇太
北九州市産業経済局長　柴田　泰平
モデレーター：9Capital合同会社　代表社員　竹山　将志

10:45-12:00 パネルディスカッション

お茶の水女子大学	学長	佐々木 泰子
東京科学大学	理事長	大竹　尚登
東京外国語大学	副学長	青山　亨
東京藝術大学	学長	日比野 克彦
一橋大学	前学長	中野　聡
北九州市立大学	副学長	中武　繁寿
九州工業大学	副学長	坂本　比呂志
早稲田大学大学院情報生産システム研究科	研究科長	藤村　茂

モデレーター：北九州市副市長 片山 憲一

13:00 基調講演
経済産業省 商務情報政策局 AIロボティクス室長 寺川 聡
TELEXISTENCE inc. CTO　佐野　元紀
モーションリブ（株）代表取締役社長　溝口　貴弘

15:00 ブース出展・産学連携マッチング など

17:00 交流会（懇親会）

WHY G-CITY？

フィジカルAIをはじめとする未来産業分野で、
大学・研究機関・企業・行政がつながり、
研究成果の社会実装を目指します。

見どころ

かつてない規模の「知」のリーダーが北九州市に集結

東京の主要な国立大学、学術研究都市内大学の学長・副学長等が登壇！

公式サイト・参加申込

公式サイト
https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/p101_00002.html

申し込みフォーム
https://ttzk.graffer.jp/city-kitakyush./smart-apply/surveys/50210481415/3638925

主催　北九州市、公益財団法人北九州産業学術推進機構
共催（予定）北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学大学院情報生産システム研究科

G-CITYサミット

G-CITY SUMMIT 2026

2026. 10.30 FRI

登壇者紹介

10:05 ／ オープニングセッション



吉田 龍央
ツバメインダストリ株式会社
代表取締役社長

TSUBAME INDUSTRIES



菊池 勇太
岡野バルブ製造株式会社
経営企画 & 新規事業統括

OKANO
The Spirit of Manufacturing



柴田 泰平
北九州市産業経済局長



竹山 将志
9Capital合同会社
代表社員・モデレーター

9C NINE CAPITAL

10:45 - 12:00 ／ パネルディスカッション 首都圏大学 × 北九州学術研究都市内大学



佐々木 泰子
お茶の水女子大学
学長



大竹 尚登
東京科学大学
理事長



青山 亨
東京外国語大学
副学長



日比野 克彦
東京藝術大学
学長



中野 聡
一橋大学
副学長



中武 繁寿
北九州市立大学
副学長



坂本 比呂志
九州工業大学
副学長



藤村 茂
早稲田大学大学院
情報生産システム研究科
研究科長



片山 憲一
北九州市副市長・
モデレーター

13:00 ／ 基調講演

寺川 聡
経済産業省
商務情報政策局
AIロボティクス室長



佐野 元紀
TELEXISTENCE inc.
CTO

TELEXISTENCE



溝口 貴弘
モーションリブ株式会社
代表取締役社長

MOTION LIB

プログラム・登壇者は予定です。